

音楽科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて

【思考力・判断力・表現力】

曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。

	生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な改善策 （「主体的・対話的で深い学び」における）	手だての実施時期	年度末評価（2月）
第1学年	○思考力・判断力・表現力 聴いた音楽に対してどのような雰囲気を感じ取ることはできるが、その思いに至った理由として要素や要素同士の関連を知覚・感受することが難しい。	<ul style="list-style-type: none"> 要素を表す言葉を書いたカードを提示し、語彙を増やしていく。 タブレットを活用し、ワークシートに感じ取った要素を記入させる。（ヒントカードの配布）要素に関するコメントを自由に入力し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞单元ごと 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくる要素の掲示物などを繰り返し提示することにより語彙の定着がみられた。 感じ取った要素をグループ活動で共有し合った。次年度はICTを使用し共同編集することにより共有する。
第2学年	○思考力・判断力・表現力 楽曲の創意工夫に対して思いや意図をもつことはできるが、表現にあらわすことが難しい。	<ul style="list-style-type: none"> グループ練習において、ふりかえりを毎時行い、目標設定を行う。 端末で録画、録音をして客観的に自分の表現を聞き、改善していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 実技单元ごと 	<ul style="list-style-type: none"> ふりかえりと課題設定を毎時間行ったり、録音を聴いたりすることにより、自己の成長や課題を客観的に捉えることができた。他者との関わりの中で自己調整ができたかという項目をつくる。
第3学年	○思考力・判断力・表現力 楽曲の創意工夫に対して思いや意図をもつことはできるが、その思いや意図を音や音楽として表現することが難しい。	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートやDVD、端末を活用した音の視覚化を図る。家庭でも聴けるよう音源を配布する。 端末で録画、録音をして客観的に自分の表現を聞き、改善していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞单元ごと 実技单元ごと 	<ul style="list-style-type: none"> 複数の音源素材を端末に配布することにより、自分で音源素材を選択し、個別に学びに向かうことができた。ふりかえり時に他者との関わりの中で自己調整ができたかという項目をつくる。

■ICTを活用した授業における改善策

1年 タブレットで提出した課題やコメント内容の評価方法を検討する。

2年 毎時のふりかえりをタブレット上で行う。

3年 鑑賞教材の動画や音源素材を適したものを厳選し、配布する。